

## 篠山東雲高の自然科学部員 城跡の堀で外来生物調査

篠山東雲高校（丹波篠山市福住）自然科学部の部員4人が、国史跡・篠山城跡の南馬出堀と東馬出堀で、アメリカザリガニなど外来生物の捕獲調査を行った。

駆除も兼ね、2020年度から定期的に実施。もんどり網20カ所と定置網2カ所を仕掛けたところ、ウシガエルのオタマジャクシ270匹、アメリカザリガニ71匹、ブルーギル14匹が掛かった。

「ウシガエルのオタマジャクシは、頭が500円硬貨より大きくてびっくりした」と初参加した1年生の 〇〇さん(15)。

昨年同時期の捕獲数は、ウシガエルのオタマジャクシ265匹、アメリカザリガニ111匹、ブルーギル25匹。「水温や気温がまだ低く、生き物が活発に活動していないため、去年より少なかったのでは」と同部顧問の 〇〇教諭は推測する。

一方、在来種であるコイ科の淡水魚モツゴは今年、636匹を採集した。記録を取り始めた23年は335匹だったので「外来生物駆除活動の成果が出てきている」と 〇〇教諭。モツゴやスジエビなどの在来種は調査後、元の場所に戻した。9月まで毎月、捕獲調査を続け、データをまとめる予定という。



捕獲したアメリカザリガニ  
を手にする部員＝篠山城跡  
南馬出堀

2026年5月15日

神戸新聞